



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,882	△1.4	430	—	501	758.5	349	36.3
28年3月期第1四半期	4,953	35.9	39	△61.5	58	—	256	207.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △117百万円(—%) 28年3月期第1四半期 400百万円(338.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	19.33	—
28年3月期第1四半期	14.18	—

(注) 従来、「固定資産除却損」は「特別損失」に表示しておりましたが、平成29年3月期第1四半期連結累計期間より「営業外費用」に含めて表示しております。第28年3月期第1四半期連結累計期間については、遡及処理後の数値を記載しております。当該遡及修正が行われたため、平成28年3月期第1四半期の「経常利益」の対前期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	27,829	20,743	74.4
28年3月期	27,832	21,113	75.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 20,697百万円 28年3月期 21,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	△0.2	1,370	59.1	1,400	47.7	950	12.1	52.58
通期	23,000	4.8	2,900	57.0	2,950	45.4	2,000	27.0	110.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	18,098,923株	28年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	30,750株	28年3月期	30,750株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	18,068,173株	28年3月期1Q	18,068,290株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済の動向は、イギリスのEU離脱という予想外の結果に一時大きく動揺したほか、ヨーロッパの一部金融機関の経営への不安観測なども表面化しました。また、原油価格は回復傾向にあるものの需給観測の不透明感が払拭されず、信頼できる回復には至っておりません。中国は成長鈍化への対応が続いたほか、東南アジア、インド、アフリカ、南米、その他新興各国も、付加価値を生むような事業投資の資金需要はほとんどありませんでした。日本は、景気刺激策にいくつかの効果はあったものの、世界が期待した経済成長には応えられない結果となりました。そのような中、アメリカだけが経済指標に一喜一憂を伴いながらも成長期待に応え続けていますが、世界経済の不透明感もあって利上げの見送りが続いております。

このような情勢の中、大規模かつ世界的なイノベーションとして、付加価値創造の期待を集めているのがIoT、AI、ロボット、Industry4.0、スマートファクトリーなどです。電子機器、情報通信機器、電子部品のみならず自動車、家電、産業機器、医療、流通などでのハード分野とソフトやサービスなどの分野の融合が求められ、研究や開発を行う企業あるいは行政が世界中で急増し始めました。

これらの分野には欠かせないパーツ、デバイスとなるのがチップ、センサー、アンテナ、カメラ、スピーカー、レーザーなどの各種コイル、サーボモーターなど多用される各種モーター、コンバーター、チャージャー、コネクター、ワイヤー、ケーブル、ストレージ、RFIDタグ/カードなどです。当社グループは、これら電気、電子、通信に必要なパーツやデバイスを製造するためのFA設備や一部製品を手がけておりますが、FA設備の開発のみならず生産技術、メンテナンスや新工法、新技術、デバイスの革新、生産性向上、品質向上など様々な進化へのトータルソリューションを行うリーディングカンパニーとしての戦略をスタートしております。

なお、当社グループの収益状況は、主要製品であるFA設備が顧客ごとの特注品であり、価格や納期がまちまちなため、当第1四半期連結累計期間の売上ベースで集計すると当第2四半期、通期業績予想に対しての進捗率は四半期期別の均等ペースには及んでおりません。しかしながら、生産ベースでは繁忙な状態が継続していること、一部案件の売上げが第2四半期へ繰り延べられていることから、現時点で業績予想を達成することに懸念はないものと判断しております。

これらの結果、売上高は48億82百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は4億30百万円（前年同期39百万円）、経常利益は5億1百万円（前年同期比758.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億49百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約95%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は46億24百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は6億26百万円（前年同期比178.7%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は42億12百万円（前年同期比19.8%減）、売上高（生産高）は41億43百万円（前年同期比1.1%増）、当第1四半期末の受注残高は82億47百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、受注がペースダウンしたものの、自動化設備の導入によって利益率は向上しました。これらの結果、連結売上高は2億58百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同期比8.5%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は4億44百万円（前年同期比16.5%減）、売上高（生産高）は2億58百万円（前年同期比5.6%減）、当第1四半期末の受注残高は4億58百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比1億78百万円増加し、219億29百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が12億39百万円減少したものの、現金及び預金が13億89百万円、仕掛品が2億29百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比1億80百万円減少し、58億99百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が46百万円、投資有価証券が80百万円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比2百万円減少し、278億29百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比3億78百万円増加し、67億14百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、電子記録債務が1億10百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比10百万円減少し、3億71百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が15百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比3億67百万円増加し、70億85百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比3億69百万円減少し、207億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成28年5月13日に公表いたしました通期業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,419,549	11,809,043
受取手形及び売掛金	6,255,786	5,016,655
仕掛品	3,309,222	3,538,320
原材料及び貯蔵品	602,862	599,283
繰延税金資産	486,518	406,614
その他	703,669	582,336
貸倒引当金	△26,295	△22,644
流動資産合計	21,751,313	21,929,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,898,138	1,851,317
機械装置及び運搬具(純額)	600,727	568,943
土地	667,893	667,893
その他(純額)	285,455	296,317
有形固定資産合計	3,452,214	3,384,471
無形固定資産		
のれん	49,004	45,235
その他	95,722	88,783
無形固定資産合計	144,727	134,018
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,653	1,587,129
その他	816,099	794,150
投資その他の資産合計	2,483,752	2,381,280
固定資産合計	6,080,695	5,899,771
資産合計	27,832,008	27,829,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,654,689	1,534,760
電子記録債務	818,328	3,048,758
未払法人税等	50,125	102,200
賞与引当金	395,063	256,164
その他	1,417,637	1,772,264
流動負債合計	6,335,845	6,714,149
固定負債		
繰延税金負債	97,070	81,323
退職給付に係る負債	80,794	85,584
その他	204,476	204,476
固定負債合計	382,341	371,385
負債合計	6,718,187	7,085,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	10,878,560	10,974,842
自己株式	△23,603	△23,603
株主資本合計	20,281,939	20,378,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,090	212,723
為替換算調整勘定	606,786	207,120
退職給付に係る調整累計額	△113,181	△100,597
その他の包括利益累計額合計	779,695	319,246
非支配株主持分	52,186	46,376
純資産合計	21,113,821	20,743,844
負債純資産合計	27,832,008	27,829,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,953,032	4,882,927
売上原価	3,961,102	3,508,933
売上総利益	991,929	1,373,993
販売費及び一般管理費	952,897	943,279
営業利益	39,031	430,713
営業外収益		
受取配当金	16,133	16,235
為替差益	—	30,192
その他	31,034	28,202
営業外収益合計	47,168	74,630
営業外費用		
債権売却損	632	951
固定資産売却損	—	1,180
為替差損	23,224	—
減価償却費	1,596	1,408
その他	2,340	380
営業外費用合計	27,794	3,921
経常利益	58,405	501,423
特別利益		
固定資産売却益	387,244	—
特別利益合計	387,244	—
税金等調整前四半期純利益	445,649	501,423
法人税、住民税及び事業税	13,055	82,090
法人税等調整額	170,276	71,729
法人税等合計	183,331	153,819
四半期純利益	262,318	347,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,177	△1,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,140	349,236

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	262,318	347,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,879	△73,367
為替換算調整勘定	118,838	△403,841
退職給付に係る調整額	8,857	12,584
その他の包括利益合計	138,575	△464,625
四半期包括利益	400,893	△117,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,785	△111,212
非支配株主に係る四半期包括利益	5,108	△5,809

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,679,624	273,408	4,953,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,679,624	273,408	4,953,032
セグメント利益又は損失(△)	224,828	28,452	253,280

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	253,280
全社費用(注)	△214,249
四半期連結損益計算書の営業利益	39,031

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,624,704	258,222	4,882,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,624,704	258,222	4,882,927
セグメント利益	626,622	30,857	657,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	657,480
全社費用(注)	△226,766
四半期連結損益計算書の営業利益	430,713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。